

による医療費削減効果の測定、医療事故予知への応用等が期待できる。また、本研究で開発した人材養成プログラムと、その評価システムは、医師のみならず、多職種(看護師、薬剤師、その他)の医療安全人材養成にも応用可能である。

F. 健康危険情報

本研究に関する健康危険情報は無い。

G. 研究発表

1. 論文発表

- ・「患者安全への提言」(日本評論社)
- ・医療の質・安全学会誌第14巻第1号
- ・患者安全推進ジャーナル No.58 総説
- ・「医療安全・質向上への取り組みの実際」診断と治療 107;6:638-643;2019
- ・「インシデント報告に対する医師、特に研修医・若手医師へのアプローチ」患者安全推進ジャーナル 58:24-29;2019.
- ・「フィードバックで促す研修医のインシデント報告」週刊医学界新聞 3337号:4-5;2019.

2. 学会発表

- ・「病院組織が抱えるリスクは量的に可視化可能か」第14回医療の質・安全学会学術集会 口演 2019.11.29. 京都
- ・「医療の質向上と患者安全～報告文化

と医療安全」第30回日本医学会総会 2019.4.28 名古屋

- ・「歯科衛生士のインシデント報告に基づいた取り組みと改善」第14回医療の質・安全学会学術集会 口演 2019.11.29 京都

3. 報道取材

- ・NHK WORLD-JAPAN 「Medical Frontiers」で医療安全活動全般、医師人材養成事業について紹介 (2019/7/16)
- ・朝日新聞でリスク指標について紹介 (2019/7/18)
- ・読売新聞でリスク指標について紹介 (2019/7/29)
- ・共同通信で医療安全活動全般・医師人材養成事業について紹介(愛媛新聞 2019/12/2、毎日新聞 2019/12/7 等々)

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

出願中(2019/11/7 出願)

2. 実用新案登録

該当なし

3. その他

該当なし